日本語中級（2）

目的： 中級レベル１で学習した場面や人間関係に応じた機能表現の学習を更に発展させて、より自然な日本語の運用能力を高めていく。また日本語能力試験 Ｎ２レベルの文法項目を確認、整理して、段落のある書き言葉の文章の読解力を身につける。読解教材を通して日本理解も深める。さらに研究活動や学外イベントなどにおいて話題を発展させたり、積極的に自分の意見や考えを述べたりすることもできるようになる。

達成目標：

1. テキストに沿った中級レベルの漢字の習得（書くのを覚える漢字・読めればいい漢字）
2. コミュニケーションに必要と思われる機能表現（頼む、許可をもらう・・）を学び、人間関係や場面に合った自然な会話ができる。
3. 書き言葉による身近な題材（市からの広報誌、簡単な取扱説明書など）の文章を読んで内容が理解できる。
4. 研究活動やホームスティ、各種交流会などの学外イベントにおいて、話題を発展させたり、積極的に自分の意見や考えを述べたりすることができる。
5. 既習漢字、文法、語彙を使いながら、テーマに沿ったわかりやすい文章や礼状、各種レポート、連絡メール、病院での問診表などが書ける。

クラス分けの仕方： 面接、かな漢字力、日本語経歴調査書、第一週目で適合性をチェック

単位： ノンクレジット科目
講義期間： 2-2 期
各週授業時間数： 2 コマ（3 時間）
総授業時間数： 15 コマ（22.5 時間）
講師名： 堀口悦子
講義日時： 火・木　15:10-16:40
使用教室： 知識 8F セミナー室
クラス定員： 10〜12 名
講義項目：

1. 仕事を探す
2. 授受表現：場面や人間関係によって異なる表現
3. 切符やホテルの予約
4. 不平不満を述べる/謝る
5. 病気やけがの表現
6. 過去の経験を述べる
7. 自分の意見を述べる/インタビュー
8. 〜は〜くらいです/やっぱり/〜さえ〜ば/〜はず/みたい/〜として
9. 〜より仕方がない/〜れる・られる（尊敬）/せめて/こそ/〜といっても〜/〜に限らない
10. 〜に限る/〜まま/〜ものですから/〜うちに/つい/〜ようにお願いする/〜たものだ/〜たて
11. ろくに〜ない/〜せいか/〜てごらんなさい/〜にこしたことはない/〜がち
12. 〜にちがいない/さすが/〜ものの/一方で（は）/〜ながら（逆接）/〜にしては/〜限り/かえって 〜
13. 〜くせに/〜とともに〜/〜を〜にまかせる/〜たびに〜/〜てくれたらと思います
14. っていうか/〜だらけ/〜にはかなわない/〜づらい/〜にこだわる/〜において
15. 期末試験

講義手法： １、講義　２、テープでの聞き取り　３、パワーポイント　４、フラッシュカード
５、作文　６、スピーチ
使用教材： 「INTERMEDIATE JAPANESE」三浦昭・マグロイン花岡直美著　The Japan Times
アサインメント：各課の単語、文法と文法練習、読み物の予習、漢字読み・書き練習、作文
規則： 欠席せざるを得ない場合（研究活動、就職活動、体調不良など）は要連絡
携帯電話 OFF、私語禁止、他言語の使用禁止
評価方法：

1. 学習意欲が旺盛で、授業中の態度（発話、音読、質問など）も積極的である
2. 宿題をきちんとやり、文法練習例文が適切である
3. 作文と発表が中級レベルにふさわしい
4. 漢字テスト結果